

E111 発達心理学	
英名科目名	Developmental Psychology
大学名	京都光華女子大学
連絡先	学生サポートセンター学修担当 TEL : 075-325-5350 FAX : 075-325-5317
担当教員	礪波 朋子 (健康科学部心理学科 准教授)
開講期間	2021年04月07日(水)~2021年07月21日(水) 1講時 08時50分~10時20分 休講 2021年05月05日(水・祝)
開講形態	前期・春学期 開講曜日・講時 水曜日 1講時
単位数	2 履修年次 2年次以上
会場	科目開設校キャンパス
授業定員	
単位互換生定員	10 京カレッジ生定員 5
試験・評価方法	<p>【成績評価方法】 授業に対する取組状況と、小テスト1回、感想文提出1回と定期試験の成績により評価を行う。</p> <p>配点 - 授業に対する取組状況(30%)、小テスト1回(10%)、感想文提出(10%)、定期試験(50%)</p> <p>【成績評価基準】 授業に対する取組状況：日々の授業への取組状況等を総合的に評価する。 小テスト：原則、第7回目の授業時に小テストを実施する。小テスト対象範囲の授業内容について理解しているかを評価する。小テストは、×式もしくは穴埋め式で行う。授業で配布した資料等、すべて持ち込み可。 感想文提出課題：授業中に視聴したDVD等について、テーマに沿って、内容を整理し、自分なりに考えをまとめられているかを評価する。 定期試験における筆記試験：授業で取り扱う全内容から知識・理解を問う問題を出題する。○×式、穴埋め式、論述式で出題する。授業で配布した資料・レジュメ及びノート等すべて持ち込み可。</p>
超過時の選考方法	書類選考
受講料	科目等履修生(履修料20,000円、選考料科目数を問わず10,000円) 聴講生(聴講料10,000円、選考料免除)
別途負担費用	なし
その他特記事項	<p>女子のみ受講可。</p> <p>【授業時間外学修(予習・復習等)について】 前回までの講義内容について、配布資料等を元に必ず復習し、疑問があれば、次回授業時に質問すること。復習時間についてはおおよそ1時間程度が望ましい。</p> <p>【担当者からのメッセージ(履修上の留意点等)】 授業内容の理解を深めるために、新聞・ニュースなどで取り上げられている発達にかかわる問題に関心を持つようになしてください。 研究室：慈光館4F 研究室4303 オフィスアワー：前期・後期 木曜 - 昼休み(12:00-12:50)、金曜 - 昼休み(12:00-12:50)</p>
パッケージ科目	
低回数受講推奨科目	
講義概要・到達目標	<p>【授業テーマ】 生涯における心身の発達と、非定型発達について学ぶ</p> <p>【授業の概要】 本授業では、人の心理発達についての理解を深めることを目的とする。各領域の発達や、誕生から死に至るまでの生涯における心身の発達についての専門的な知識を学び、さらに発達障害等非定型発達についての基礎的な知識及び考え方を身につける。</p>

【到達目標】	<p>1. 認知機能の発達、感情・社会性の発達、及び自他の関係と心理発達について理解する</p> <p>2. 誕生から死に至るまでの生涯における心身の発達について理解する</p> <p>3. 発達障害等非定型発達についての基礎的な知識及び考え方や高齢者の心理社会的課題及び必要な支援について理解する</p>
講義スケジュール	<p>【授業計画及び授業内容】</p> <p>1 発達を理解することの意義、子どもの発達と環境</p> <p>2 発達観、子ども観</p> <p>3 認知機能の発達 知覚の発達 思考とことばの発達</p> <p>4 感情・社会性の発達 感情の発達と自我 社会性の発達 対人関係の発達</p> <p>5 自己と他者の関係の在り方と心理的発達 自己と他者の認知 自己の発達</p> <p>6 他者とのかかわりと子どもの発達 基本的信頼感の獲得 他者とのかかわり 社会的相互作用</p> <p>7 生涯発達と発達援助【小テスト】</p> <p>8 誕生から死に至るまでの生涯における心身の発達(1)胎児期、新生児期</p> <p>9 誕生から死に至るまでの生涯における心身の発達(2)乳児期、幼児期</p> <p>10 誕生から死に至るまでの生涯における心身の発達(3)児童期、青年期</p> <p>11 誕生から死に至るまでの生涯における心身の発達(4)成人期、老年期</p> <p>12 高齢者の心理社会的課題及び必要な支援</p> <p>13 発達障害等非定型発達についての基礎的な知識及び考え方(1)発達障害とは【感想文課題】</p> <p>14 発達障害等非定型発達についての基礎的な知識及び考え方(2)発達障害の種類と概要</p> <p>15 発達心理学のまとめ</p> <p>【授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック】 授業時に資料と書き込み式のレジュメを配付し、講義形式で行う。必要に応じてビデオ等の視聴覚資料も利用する。 授業内で小テスト1回、視聴覚資料を視聴しての感想文提出課題1回を実施する。 小テストは回目の授業時に返却し、解説する。</p>
教科書	なし
参考書	なし